

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： (1 組～4 組 名取 紀子)

使用教科書： (教育図書 家庭基礎)

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】
 - ・人の一生、家族・家庭、衣食住、消費、環境などの生活事象を理解する。
 - ・生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につける。
 - ・家庭や地域・社会の中から問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想→実践→評価・改善→表現する力を養う。
 - ・生涯を見通して生活課題を解決する力を育てる。
- 【思考力、判断力、表現力等】
 - ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて参画しようとする態度を育てる。
 - ・自分や家庭・地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
 - ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとする姿勢を育む。
 - ・持続可能な社会の構築に向けて、生活者として主体的に行動しようとする態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・家族・家庭、衣食住、消費生活、環境など、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につける。 ・乳幼児や高齢者への関わりに必要な基礎的な支援技能を理解する。	・生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決策を考え、実践し、評価・改善するという生活課題の解決力を育てる。 ・家族・家庭の意義、消費者としての責任、持続可能な生活などについて根拠をもって考察し表現する力を養う。	・家庭や地域の生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。 ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとする姿勢を育む。 ・持続可能な社会の構築に向けて、生活者として主体的に行動しようとする態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 生活設計・経済計画 【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解し、ライフイベントにかかるおおよその費用を把握する。 【思考・判断・表現等】 生活上の課題を見出し、自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考える。 【学びに向かう力・人間性等】 生活の課題を自分事として捉え、仲間と協働しながら、解決策を探究し、よりよい生活や社会の実現に向け主体的に学ぶ態度を養う。	1 指導事項 ・ライフステージと発達課題 ・目標と意思決定 ・人生にかかる費用とリスク ・人生設計 ・家計の金融資産 教材 ・プリント ・視聴覚教材 ・一人一台端末の活用 ・外部講師の活用	1 【知識及び技能】 ライフステージごとに起こりうるイベント、費用、リスクを理解しているか。 【思考・判断・表現等】 生活上の課題を見出し、自らの将来像や目標を考察し、表現できているか。 【学びに向かう力・人間性等】 他者の意見を聞き、自分の考えを深めることができているか。	○	○	○	12
2 青年期と家族 【知識及び技能】 青年期の課題を理解し、これから築く家庭生活や社会生活の課題について理解する。 【思考・判断・表現等】 家族や家庭生活の課題を多面的にとらえ、自分の結婚観・人生観を根拠に基づき考え表現する力を育てる。 【学びに向かう力・人間性等】 多様な生き方を尊重し、協働的に学び、家庭や社会でより良い生活づくりに主体的に取り組む態度を育てる。	2 指導事項 ・青年期の課題 ・経済的自立 ・職業選択 ・キャリア形成 ・男女協働・価値観の多様性 教材 ・プリント、視聴覚教材 ・一人一台端末の活用 ・外部講師の活用	2 【知識及び技能】 単元の知識を身につけ活用できているか。 【思考・判断・表現等】 家族や家庭生活の課題を踏まえ、自分の結婚観・人生観を根拠に基づいて考え、表現できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 他者の意見を聞き、自分の考えを深めようとしているか。	○	○	○	4
3 高齢期・共生社会 【知識及び技能】 高齢者の特徴や支援制度を理解し、安心して生活するための基礎的な知識や技能を身につける。 【思考・判断・表現等】 高齢者の生活課題を捉え、地域で支え合う方法について考え、表現することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 高齢者を尊重し、協働的に学びながら、共生社会づくりに主体的に取り組もうとする態度を育てる。	3 指導事項 ・高齢者の特徴 ・高齢社会の現状と課題 ・安心できる暮らしを支える仕組み 教材 ・プリント ・視聴覚教材 ・一人一台端末の活用	3 【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、生活課題、介護・福祉制度、地域の支援の仕組みを理解できたか。 【思考・判断・表現】 高齢者の生活課題を多面的に考察し、地域で支え合う方法を根拠とともに示すことができたか。 【学びに向かう力・人間性等】 高齢者を尊重しながら協働的に学び、共生社会に向けて主体的に行動しようとする姿勢が見られたか。	○	○	○	2
4 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 生活課題に応じて必要な知識を調べ、安全に実践できる方法や手順を理解し、基礎的スキルを身に付ける。 【思考・判断・表現等】 目的を明確にして計画を立て、実践結果を評価・改善し、根拠に基づいてまとめ表現する力を育てる。 【学びに向かう力・人間性等】 生活をよりよくするために協働して課題に取り組む、地域と協力しながら学ぶ態度を育てる。	4 指導事項・内容 ・保育の意義について理解するとともに、国際社会における子どもの生活や課題について調べ、ホームプロジェクトを通して主体的な社会参画の在り方を考える。	4 【知識・技能】 国際社会における子どもの生活や課題について調べ、目的に応じて資料を整理・作成しているか。 【思考・判断・表現】 日本の高校生としてどのような関わり方ができるかを考察し、表現しているか。 【学びに向かう力・人間性等】 国際社会の一員としての自覚をもち、社会的課題に関心をもって主体的に学習に取り組もうとする態度が見られる。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

